

《 いじめ発見のための観察ポイント 》

第1段階 少し気を付けて観察しましょう

- 「行ってきます」「ただいま」の声に元気がない
- 弟、妹やペットに乱暴な態度をとる
- 親への反発が強くなる
- 食欲がなく、寝言などでうなされることがある
- 勉強や部活動に身が入っていないように見える
- 最近、よく物をなくす
- 学校のことを尋ねると「別に」「普通」など、具体的に答えない
- メールやブログ等を今まで以上に気にしはじめ
- 友達から呼び出されるようになる
- 頭痛、腹痛を訴え登校をしづらくなるようになる
- ノートや教科書に落書きや破損がみられる
- 学校行事に来ないでほしいと言う
- すぐに自分の非を認め、謝るようになる（隠していることを詮索されたくない）
- 学校からの通知を見せなくなる
- ぼーっと放心状態であることがある
- 何もしていない時間が多い
- 倦怠感、疲労、意欲の低下が見られる
- 無理に明るく振る舞っているように見える

第2段階 いじめられている可能性を疑い、学校に相談してください

- 「行ってきます」「ただいま」を言わなくなる
- 気分の浮き沈みが激しくなる
- 弟、妹にあたるが増える
- 理由もなくイライラしている
- 食欲がなくなり、家族と一緒に食事をしなくなる
- 成績やテストの結果が急激に下がる
- 制服や衣服の汚れが著しい
- 制服、衣服、靴などを親の知らないところで自分で洗う
- 物がなくなる理由を聞いても「分からない」等と反発する
- 持ち物（教科書、筆箱等）への落書きがある
- 学校のことを詳しく、具体的に聞くと怒る
- 学校や友だちの話題を避けるようになる
- メールやブログ等、携帯電話を見ようとしなくなる
- 携帯電話を家族の目に触れさせないようにする
- イタズラ電話（間違い電話）がよくかかってくるようになる
- 友人からの電話に「どきっ」とした様子を見せる
- ちょっとした音に敏感になる
- 親に聞かれないようにひそひそ電話が多くなる
- 原因不明の頭痛、腹痛、吐き気、食欲低下、痩せ等の身体症状が見られる（*注）
- 登校をしづらくなる（*注）
- 身体を見せたがらない
- 外に出たがらず、外に出たときには周囲を気にしている

（*注）ストレス等による、精神的なものに起因する場合があります。

【参考資料】 （文部科学省による）

いじめの定義

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

具体的ないじめの態様

- ① 冷やかしやからかい，悪口や脅し文句，嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ，集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり，遊ぶふりをして叩かれたり，蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつかられたり，叩かれたり，蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり，盗まれたり，壊されたり，捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと，危険なことをされたり，させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話等で，誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他
があげられる。

【参考リンク先】

「いじめの問題に対する施策（文部科学省）」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302904.htm

「徳島県いじめの防止等のための基本的な方針について」

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014032500290/>